

児童センター配信動画「ゆめちゃんねる」

(担当：子ども未来部 子ども育成課 東大井児童センター)

事業の背景・目的

《背景》

2020年春、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、緊急事態宣言が発令されました。そのような状況下、居場所が限られ、在宅生活を余儀なくされている子どもたちおよびその保護者を早期に支援するために、児童の健全育成と在宅子育て支援を担う児童センターから乳幼児、小中高生、その保護者に向けて、児童センター動画「ゆめちゃんねる」の配信を始めることになりました。

《目的》

- 子どもたちの成長に欠かすことのできない「遊び」の大切さを伝えていく。
- 外出自粛が求められる中、動画配信によって少しでも在宅生活に潤い、活力を持たせる。
- 子どもたちの成長につながる環境作りに寄与する。
- 子育て支援の一助となすとともに、児童センター利用へつなげていくきっかけを作る。
- 在宅中の子どもや保護者の気持ちに寄り添い、その気持ちを受けとめる。

事業の概要

《ゆめちゃんねる QR コード》

- 実施 品川区公式 YouTube 児童センター動画「ゆめちゃんねる」
2020年4月～ 配信開始（毎週木曜日）
2021年1月～ 月2回（第1, 3木曜日）配信に変更
vol.54 まで配信中（2021年9月末日現在）



- 制作 館長館 13 館の職員が制作する。
13 館の PC に動画編集用ソフトをインストールし、そのソフトを使って編集をする。
《児童センター動画「ゆめちゃんねる」制作ガイドライン》に則って、企画、撮影、編集を行う。
- 内容 乳幼児向けの手遊び、歌遊び、体操など
小中高生向けに工作やクッキング、遊びの紹介など
児童センター事業の報告など



工夫点・留意点

- ・品川区児童センターの紹介アプリ「しながわ パパママ応援アプリ」運用の担当をしている各児童センター情報推進委員が動画制作にあたっての全体の進行管理を行うことにしました。
- ・《児童センター動画「ゆめちゃんねる」制作ガイドライン》を作成し、テーマの決め方や、題材、撮影のポイント、サイズ等体裁を整えるなどについて細かく決めました。情報推進委員は、制作上で困った事や技術的な事についてアドバイスをを行う等、制作補助をしています。
- ・動画は一度配信したら削除することができないため、リテラシー、著作権等についてもしっかりと話し合い、制作に携わる職員全員に対し説明会を行いました。
- ・配信するまでに、複数の目で様々なチェックを行っています。
- ・品川区児童センターのマスコットキャラクターである「ゆめちゃん」の人形や着ぐるみなども活用して、動画に親しみをもってもらおうようにしています。
- ・オープニング、エンディングに流れる楽曲「児童センターへ行こう」は、区内児童センターで音楽活動をしていたOBが作曲・演奏したものを使用し、オリジナルティーを出しています。

事業の効果

- ・緊急事態宣言中や休館中も多くの児童センター利用者に視聴していただき、家でできる「遊び」や潤いの時間となるような「工作」「クッキング」等の紹介を行い、結果的には多くの子どもたち、保護者にエールを送ることができました。(配信総数 54回 全再生回数 38,401回 平均視聴率 711.1回 2021年9月22日現在)
- ・「毎週楽しみにしています」「早く児童センターに行けるようになりたいなど待ち遠しいです」「さっそく遊んで子どもと楽しい時間が過ごせました」などの視聴者からの声もあり、新しい情報発信の方法として好意的に受け止めてくださっていることがわかりました。
- ・感染状況が比較的落ちついている時期には、児童センター利用者も出演し、動画を通して子どもたちの自己表現の場とすることができました。
- ・制作する職員にとっては、児童センター利用者「動画配信」という新しいアプローチの仕方
で広報の幅を広げることができ、5分程度の短時間で視聴者に「何をどのように伝えるのか」を学ぶ場になりました。

課題・今後の展開

- ・品川区児童センターの広報の一つとして、今後も継続的に《児童センター動画「ゆめちゃんねる」》の配信をしていきます。
- ・ITは日進月歩で進んでいるので、誰もが作れるよう職員のスキルアップが必要と考えます。今後、リテラシーと合わせ、スキルアップ研修も行っていきます。
- ・直接処遇を大切にし、利用者、特に中高生を巻き込んで企画、制作を行っていきます。「子どもの参画」を実現できる事業の一つとしていきたいと思えます。

《ゆめちゃんねるサムネイル》

